

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	プレゼンテーション実践			コース名	診療情報管理士		
担当教員	内田 洋子	学年・学期	3年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>プレゼンテーションの効果的な構成・スライド作成・発表方法を学ぶ。                  授業は、出題されるテーマのプレゼンテーションを実践する。その過程で①情報収集②情報の取捨選択                  ③訴求ポイントの決定④構成⑤スライド作成⑥練習⑦発表⑧フォロー、の各手順ごとのノウハウを実践                  を通じて身に付けさせる。</p>						
到達目標	<p>聞き手と発表者のツーウェイな論理的な構成と、見やすく分かりやすいスライド、熱意を込めた発表態度                  で、聞き手に理解・納得・行動を促す効果的なプレゼンテーションができるようにする。</p>						
授業計画・内容							
第1週	プレゼンテーションの目的とは何か		第16週	スライド作成			
第2週	1分スピーチ(リサーチ・構成・練習・発表)		第17週	スライド作成			
第3週	プレゼンテーションに向けて リサーチ・情報 収集		第18週	練習・リハーサル・発表・反省			
第4週	情報の取捨選択・訴求ポイントの決定		第19週	プレゼンテーションに向けて リサーチ・情報 収集			
第5週	サンドイッチフォーマットによる構成		第20週	情報収集			
第6週	サンドイッチフォーマットによる構成・台本作 成		第21週	情報の取捨選択・訴求ポイントの決定			
第7週	効果的なスライドの作成方法		第22週	構成			
第8週	スライド作成		第23週	台本作成			
第9週	スライド作成		第24週	スライド作成			
第10週	練習・リハーサル・発表・反省		第25週	スライド作成			
第11週	プレゼンテーションに向けて リサーチ・情報 収集		第26週	練習・リハーサル			
第12週	情報収集		第27週	発表・反省			
第13週	情報の取捨選択・訴求ポイントの決定		第28週	卒業制作(診療情報管理士に関するパネル)			
第14週	構成		第29週	卒業制作(診療情報管理士に関するパネル)			
第15週	台本作成		第30週	卒業制作(診療情報管理士に関するパネル)			
評価方法	<p>定期試験は実施せずに、プレゼンへの理解度・発表内容・授業態度を考慮して成績を評価する。</p>						
教科書 教材など	<p>社外プレゼンの資料作成術</p>						
実務経験					<p>実務経験のある教員による 授業科目</p>		

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	手話		コース名	診療情報管理士			
担当教員	水内・山根	学年・学期	3年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	言語としての手話の特徴や、手話を豊かに表現する基礎づくりから、ろう者と日常会話が円滑にできるまでを統計的に学ぶ。生徒が主体的に事業が取り組めるよう、また、復習や反復練習で技術をきちんと獲得できるよう学習を進める。						
到達目標	聴覚障害者とのコミュニケーションに必要な手話を理解し、特定の聴覚障害者とならば手話で日常会話ができるようになることが目標である。						
授業計画・内容							
第1週	主語をわかりやすく(表情・強弱・速度)						
第2週	主語をわかりやすく(具体的表現—様子や形)						
第3週	主語をわかりやすく(具体的表現—動き)						
第4週	主語をわかりやすく(位置・方向—1対1)						
第5週	主語をわかりやすく(位置・方向—この場にはいない第三者を含んで)						
第6週	主語をわかりやすく(役割の切り替え)						
第7週	主語をわかりやすく(指さし)						
第8週	空間をうまく使いましょう(左右・前後の空間活用)						
第9週	空間をうまく使いましょう(上下空間・指さしと視線の活用)						
第10週	両手や指をうまく使いましょう(同時性)						
第11週	両手や指をうまく使いましょう(指の代理的表現)						
第12週	繰り返しの表現						
第13週	意味に合った手話						
第14週	基本文法のまとめ1						
第15週	基本文法のまとめ2						
評価方法	9月20日(金)に試験を実施する。筆記問題、読み取り問題、聞き取り表現問題の3種類。 * 評価目安:3種類試験(30%×3)・授業態度(10%)						
教科書 教材など	手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう手話で話そう						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	患者接遇マナー		コース名	診療情報管理士			
担当教員	宮原 香由里	学年・学期	3年・通年	時間数	30時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業方法	患者接遇マナーは、講義、ロールプレイ演習および授業プリントのファイリング等により、社会人の基本動作と心構えを身に付ける授業です。前期は就職試験の対策と電話対応の掛け方および電話話法の応用編により実技を身に付けます。後期は組織人としての働き方を学び、対人コミュニケーションスキルを上げるための実技演習を中心に学習します。(検定受験状況によっては、検定対策も行います。) 授業時にはスーツ着用ください。スーツを着こなすことで社会人としての身だしなみの感覚も身に付けます。						
到達目標	①返事、挨拶、お辞儀、敬語を徹底して習得し、日常的に使える接遇の基本を言動を身に付ける。 ②ノートを取り、自分のマニュアル作成ができるようにする。 ③授業プリントをファイリングすることで、日常的に書類管理できるスキルを身に付ける。 ④課題等の提出物の期日を守るための時間管理能力を身に付ける。 ⑤授業時に身だしなみを整えることを意識することで、社会人の仕事への姿勢に対する感覚を持つようにする。 ⑥電話対応と来客対応のロールプレイ演習を通じ、実務力を身に付ける。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション(授業ルールと評価の説明) 2年次の復習	第16週	一般企業の組織と病院の組織の違い				
第2週	自己分析(1) 長所と短所を書き出す	第17週	人間関係とチームワーク(1)				
第3週	自己分析(2) 長所と短所から分かること	第18週	人間関係とチームワーク(2)				
第4週	自己分析(3) 自分史を作成する	第19週	経営者が求める組織人の要件(1)				
第5週	自己PRの書き方	第20週	経営者が求める組織人の要件(2)				
第6週	志望動機のまとめ方	第21週	対人コミュニケーション 総合演習(1)				
第7週	模擬面接(1)	第22週	対人コミュニケーション 総合演習(2)				
第8週	模擬面接(2)	第23週	対人コミュニケーション 総合演習(3)				
第9週	ビジネス電話の掛け方	第24週	対人コミュニケーション 総合演習(4)				
第10週	就活での電話のロールプレイ(掛け方①)	第25週	対人コミュニケーション 総合演習(5)				
第11週	問い合わせの電話のロールプレイ (掛け方②)	第26週	対人コミュニケーション 総合演習(6)				
第12週	電話話法の復習	第27週	対人コミュニケーション 総合演習(7)				
第13週	電話での声の出し方	第28週	対人コミュニケーション 総合演習(8)				
第14週	電話対応のロールプレイ(不在電話①)	第29週	対人コミュニケーション 総合演習(9)				
第15週	電話対応のロールプレイ(不在電話②)	第30週	総まとめ				
評価方法	以下①～③の観点より、総合評価により単位認定します。出席と授業態度や課題提出状況を評価の大部分とするため、原則として成績不良者に対する再試験は実施しません。詳しくはオリエンテーション時に説明します。 ①授業点…課題への取り組み、提出状況、授業態度や身だしなみ等を持ち点100点より減点法により採点します。ファイル提出のできない場合は合格点を出せません。 ②出席点…この教科の補講等も含む出席率を点数とします。半期につき3分の1以上の欠席がある場合は合格点を出しません。 ③試験点…期末試験の成績(筆記試験だけでなく実技試験や口述試験をする場合もあります。110点満点)						
教科書 教材など	講師作成のプリントにより講義します。 授業時に配布するファイルにプリントを綴ることでテキスト兼ノートが完成します。						
実務経験	一般旅行業(企画・接客販売・営業・添乗業務)および法律事務所(事務兼 パラリーガル)の実務経験(10年) ビジネスマナー・インストラクターとしての実務経験(22年)			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	業界研究		コース名	診療情報管理士			
担当教員	松浦 恵	学年・学期	3年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	2年次に学んだ知識を活かし、実際の就職試験に向けて、以下のことを計画立てて進めていく。 ・病院への電話のかけ方を、てるコーチを用いて実践する。 ・病院への訪問の仕方を実践する。 ・面接訓練を行い、さまざまな質問に対応できるようにする。 ・履歴書の書き方を学ぶ。						
到達目標	実際の就職試験に、自信を持って臨めるようにする。						
授業計画・内容							
第1週	病院への電話のかけ方	第16週	診療情報管理士認定試験に向けてフォローアップ				
第2週	電話実践①	第17週					
第3週	電話実践②	第18週					
第4週	電話実践③	第19週					
第5週	病院への訪問の仕方	第20週					
第6週	訪問実践①	第21週					
第7週	訪問実践②	第22週					
第8週	訪問実践③	第23週					
第9週	面接の質問に対する対応を考える	第24週					
第10週	面接訓練①	第25週					
第11週	面接訓練②	第26週					
第12週	面接訓練③	第27週					
第13週	履歴書の書き方①	第28週					
第14週	履歴書の書き方②	第29週					
第15週	前期まとめ	第30週					
評価方法	定期試験は行わず、出席状況・授業態度・ロールプレイングの結果により成績を評価する						
教科書 教材など	練習用プリント、参考資料ほか						
実務経験	病院にて医療事務・診療情報管理士の経験16年			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	一般教養			コース名	診療情報管理士		
担当教員	田村 英輝	学年・学期	3年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	時事問題・漢字・日本のしきたり等の教養、時代のニーズに合わせた内容まで学習する。						
到達目標	就活 筆記試験合格						
授業計画・内容							
第1週	都道府県、県庁所在地		第16週	ものの流れと比率			
第2週	濃度①		第17週	ブラックボックス			
第3週	濃度②		第18週	グラフの領域①			
第4週	速さ・距離・時間①		第19週	グラフの領域②			
第5週	速さ・距離・時間②		第20週	論証①			
第6週	ものの値段と個数		第21週	論証②			
第7週	定価・原価・利益		第22週	立体の展開図・断面			
第8週	割合と値段		第23週	同意語・反意語			
第9週	仕事算		第24週	2語の関係			
第10週	表の読み取り		第25週	文法			
第11週	資料の読み取り		第26週	敬語			
第12週	順列・組み合わせ		第27週	長文問題			
第13週	確率のとりえ方		第28週	国語総仕上げ			
第14週	集合		第29週	数学総仕上げ			
第15週	推論		第30週	期末試験対策			
評価方法	出席率、提出物、授業態度、テスト						
教科書 教材など	メディカルベーシック等						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	夏季実習Ⅱ		コース名	診療情報管理士			
担当教員	松浦 恵	学年・学期	3年・前期	時間数	90 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	2年次の夏季実習Ⅰの後にいった実習後学習で課題となったこと、自分に不足していたことを実習後に振り返り、学び直しを行い夏季実習Ⅱに繋げる。						
到達目標	診療情報管理士として働くことの心構えを身に付け、コ・メディカルスタッフとのコミュニケーションをスムーズに行い、診療情報のプロとしての人材となれるように努力する。						
授業計画・内容							
第1週	<p>【病院実習】</p> <p>診療録の保管</p> <p>診療記録の貸出・返却チェック</p> <p>退院時要約のチェック</p> <p>死亡統計作成</p> <p>がん登録</p> <p>DPC基礎調査 など</p>						
第2週							
第3週							
第4週							
第5週							
第6週							
第7週							
第8週							
第9週							
第10週							
第11週							
第12週							
第13週							
第14週							
第15週							
評価方法	実習中、学生は実習日誌を毎日記入し、担当の方にコメントをいただく。 実習終了後、担当の方へ実習評価表の記入をお願いする。 実習日誌と実習評価表の内容により成績を評価する。						
教科書 教材など	実習レポート教材						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	臨床医学各論		コース名	診療情報管理士			
担当教員	河合 洋二郎	学年・学期	2年・後期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	テキスト・問題集を使い、1年次・2年次に学んだ基礎医学の総復習を行う。						
到達目標	診療情報管理士認定試験合格						
授業計画・内容							
第1週	第1章 医療概論①						
第2週	第1章 医療概論②						
第3週	第8章 循環器・呼吸器						
第4週	第3章 外傷						
第5週	第4章 感染症						
第6週	第5章 新生物						
第7週	第6章 血液・代謝・内分泌						
第8週	第7章 脳神経・感覚器						
第9週	第9章 消化器・泌尿器						
第10週	第10章 周産期						
第11週	第11章 皮膚・筋骨格						
第12週	第2章 人体構造						
第13週	医療用語①						
第14週	医療用語②						
第15週	総復習						
評価方法	出席状況、授業態度、定期試験により成績を評価する。						
教科書 教材など	診療情報管理 I (基礎・医学編)、診療情報管理 II (基礎・医学・医療用語編) 診療情報管理士問題集(基礎・医学編)						
実務経験	内科医師			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	分類法			コース名	診療情報管理士		
担当教員	松浦 恵	学年・学期	3年・通年	時間数	120 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	2月9日に行われる第13回診療情報管理士認定試験に向けて対策を行う。 出題範囲である診療情報管理Ⅳテキスト、問題集を利用し演習を行い、web配信も利用した繰り返し演習に取り組む。定期的に模擬試験を行い、習熟度の確認を行う。 ※講義形式						
到達目標	6回行う模擬試験の復習を繰り返し行うことで、合格ラインに達するようにする。						
授業計画・内容							
第1週	原死因について①		第16週	認定試験対策			
第2週	原死因について②		第17週	第3回模擬試験			
第3週	原死因について③		第18週	模擬試験 見直し・再試			
第4週	ショートサマリ演習①		第19週	認定試験対策			
第5週	ショートサマリ演習②		第20週	認定試験対策			
第6週	ショートサマリ演習③		第21週	第4回模擬試験			
第7週	ショートサマリ演習④		第22週	模擬試験 見直し・再試			
第8週	ショートサマリ演習⑤		第23週	認定試験対策			
第9週	第1回模擬試験		第24週	認定試験対策			
第10週	模擬試験見直し・再試		第25週	第5回模擬試験			
第11週	サマリ演習①		第26週	模擬試験 見直し・再試			
第12週	サマリ演習②		第27週	認定試験対策			
第13週	サマリ演習③		第28週	第6回模擬試験			
第14週	第2回模擬試験		第29週	模擬試験 見直し・再試			
第15週	模擬試験見直し・再試		第30週	認定試験対策			
評価方法	出席状況、授業態度、授業内で行う模擬試験への取組み、定期試験により成績を評価する。						
教科書 教材など	診療情報管理Ⅳ(専門8章～12章) 診療情報管理士教育問題集						
実務経験	病院にて医療事務・診療情報管理士の経験16年				実務経験のある教員による 授業科目		✓



## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	医療情報学		コース名	診療情報管理士			
担当教員	谷口和夫	学年・学期	3年・前期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>保健医療とは疾病を治療することが主たる目標である。医療のみならずその予防や住民の日常の健康管理さらに介護や福祉の領域までも包含するより広い概念である。保健医療分野への情報通信技術(ICT)の応用は極めて大きなものがある。今世紀に入り、診療情報の電子化はますます発展し、医療機関内の情報化から地域医療の情報化へ、また医療のみならず保健・医療・介護・福祉分野のICTによる情報形態が実現しつつある。</p>						
到達目標	<p>本講義は保健医療情報の情報科学的認識、保健医療の情報化の動向、医療情報システムの実際、医療情報の標準化の動向、診療情報のセキュリティ管理などについて講義し、ICTを活用した的確な診療情報管理がいかに保健医療の質的向上に貢献し得るかを学ぶ。言うまでもなく、「診療情報管理士」の資格取得を目標とする。</p>						
授業計画・内容							
第1週	5-1 保健医療情報学(Health Informatics)とは						
第2週	5-2 医療情報の特徴と種類    5-2-1 医療情報と診療情報						
第3週	5-3 行政が進める保健医療の情報化政策						
第4週	5-4 医療情報システム    5-4-2 病院情報システム概論						
第5週	5-4-4 オーダーエントリーシステム						
第6週	5-4-5 電子カルテシステム						
第7週	5-4-6 地域医療情報システム						
第8週	5-5 診療情報の二次利用						
第9週	5-5-1 データウェアハウス    5-5-2 医療ビッグデータ    5-5-3 治験						
第10週	5-6 個人が管理する保健医療記録						
第11週	5-6-1 HERとPHR						
第12週	5-7 医療情報の標準化    5-7-3 医療情報分野における用語・コードの標準化						
第13週	5-7-4 ICD10対応標準病名マスター						
第14週	5-8 情報セキュリティ    5-8-3 医療情報システムの安全管理に関するガイドライン						
第15週	5-9 医療情報の情報化のこれから						
評価方法	<p>定期試験は実施する。試験結果、出席状況、授業態度を考慮して成績を総合的に評価する。 ※評価目安:筆記試験(70%)・授業態度や出席(30%)</p>						
教科書 教材など	日本病院会 診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門・1章～7章 第8巻 (5章 保健医療情報学)						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	医療統計学		コース名	診療情報管理士			
担当教員	谷口和夫	学年・学期	3年・後期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	統計の理論を用いた結果、具体的に求められる結果としてグラフ表現や、病院で一般的に用いられる病院統計、疾病統計について学ぶ。また、臨床研究の主な手法を学ぶとともに、テクニカルな面だけでなく、研究を行うにあたっての倫理的な側面も学ぶ。						
到達目標	病院におけるICT化が著しく普及している今日、診療情報管理士の重要な役割として、単に診療録の管理だけでなく、診療情報からさまざまな情報を導き出し、医療の質の向上そして病院経営戦略のための情報提供など、より高度な情報管理機能を期待されている。それらの具体的表現法を身に着ける。また、病院の統計資料としては患者統計と疾病統計に大別される。ここでは、日常的に診療情報管理室がかかわりを持つ基本的な統計資料という前提で病院統計の作成と意義について考察する。言うまでもなく、「診療情報管理士」の資格取得を目標とする。						
授業計画・内容							
第1週	7-1 データのグラフ表現						
第2週	7-1-1 データの視覚化						
第3週	7-1-2 各種のグラフとその用途						
第4週	7-2 病院の統計資料						
第5週	7-2-1 病院統計の作成とその意義						
第6週	7-2-2 主な統計調査と評価指標						
第7週	7-2-3 主な医療評価指標						
第8週	(1) 平均在院患者数 (2) 平均外来患者数 (3) 外来／入院比率						
第9週	(4) 平均在院日数 患者調査 病院報告 (5) 平均病床利用率						
第10週	(6) 病床回転率 (6) 死亡率 (7) 死亡率 粗死亡率 精死亡率						
第11週	(8) 剖検率 (9) 対診率 (10) 再入院率						
第12週	(11) 紹介率 (12) 悪性腫瘍の5年生存率						
第13週	7-3 臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針						
第14週	7-3-1 コホート研究と症例対照研究						
第15週	7-3-2 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針						
評価方法	定期試験は実施する。試験結果、出席状況、授業態度を考慮して成績を総合的に評価する。 ※評価目安:筆記試験(70%)・授業態度や出席(30%)						
教科書 教材など	日本病院会 診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門・1章～7章 第8巻 (7章 医療統計Ⅱ)						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	受験対策ゼミ I			コース名	診療情報管理士		
担当教員	武部 伸	学年・学期	3年・通年	時間数	195時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業方法	7月の第1回模擬試験に向け、専門科目(第3章～第4章・第8章～第10章)のテキスト及び問題集を復習し、理解を深める。各自で前期のスケジュールを表作成し、それに沿って自習・質問・解説・レポート提出を行う。 授業は基本的には自習形式で行う。						
到達目標	2020年2月に行われる診療情報管理士認定試験に向け、前期では、テキスト及び問題集を復習し、各章の得意・不得意を早期に見つける。後期で不得意科目を克服し、全員合格を目指す。						
授業計画・内容							
第1週	各自スケジュール表作成・自習・質問・解説・レポート提出	第16週	個人面談各自スケジュール表作成・自習・質問・解説				
第2週	個人面談・自習・質問・解説・レポート提出	第17週	自習・質問・解説・レポート提出				
第3週	自習・質問・解説・レポート提出	第18週	自習・質問・解説・レポート提出				
第4週	自習・質問・解説・レポート提出	第19週	専門領域第3回模擬試験実施・解説・レポート提出				
第5週	自習・質問・解説・レポート提出	第20週	個人面談・各自スケジュール表作成・自習・質問・解説				
第6週	自習・質問・解説・レポート提出	第21週	自習・質問・解説・レポート提出				
第7週	自習・質問・解説・レポート提出	第22週	自習・質問・解説・レポート提出				
第8週	自習・質問・解説・レポート提出	第23週	専門領域4回模擬試験実施・解説・レポート提出				
第9週	自習・質問・解説・レポート提出	第24週	個人面談・各自スケジュール表作成・自習・質問・解説				
第10週	自習・質問・解説・レポート提出	第25週	自習・質問・解説・レポート提出				
第11週	専門領域第1回模擬試験実施・解説・レポート提出	第26週	自習・質問・解説・レポート提出				
第12週	個人面談・各自スケジュール表作成・自習・質問・解説	第27週	専門領域第5回模擬試験実施・解説・レポート提出				
第13週	自習・質問・解説・レポート提出	第28週	個人面談・各自スケジュール表作成・自習・質問・解説				
第14週	自習・質問・解説・レポート提出	第29週	自習・質問・解説・レポート提出				
第15週	専門領域第2回模擬試験実施・解説・レポート提出	第30週	専門領域第6回模擬試験実施・解説・レポート提出				
評価方法	定期試験、授業態度、出席状況、レポート内容等を考慮して成績を評価する。 評価目安:定期試験(90%)、その他(10%)						
教科書 教材など	診療情報管理Ⅲ(2017年 第8版)・診療情報管理士教育問題集 専門8章～12章(2017年) 診療情報管理Ⅳ(2017年 第9版)・診療情報管理士教育問題集 専門1章～7章(2017年)						
実務経験	倉敷中央病院にて診療情報管理30年・川崎医療福祉大学10年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	受験対策ゼミⅡ			コース名	診療情報管理士		
担当教員	谷口和夫	学年・学期	3年・通年	時間数	135 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	医療情報学と医療統計学の受験対策ゼミとしての講義である。保健医療とは医療のみならずその予防や住民の日常の健康管理さらに介護や福祉の領域までも包含する、より広い概念である。保健医療分野への情報通信(ICT)の応用は極めて大きなものがある。医療のみならず保健・医療・介護・福祉分野のICTによる情報形態が実現しつつある。また、医学医療の分野では統計的な処理が行われている。例えば、疾病統計、臨床研究、疾病調査など、医学データを統計的に処理して意思決定に役立つ情報を生み出している。診療情報管理士として、診療情報を客観的な判断を下す資料作成の重要性が期待されている。						
到達目標	本講義では医療情報学における保健医療情報の情報科学的認識、保健医療の情報化の動向、医療情報システムの実際、医療情報の標準化の動向、診療情報のセキュリティ管理などに貢献し得るかを学ぶ。また、医療統計学では最初に医療統計学の位置づけと意義について講義を行い、その後医療における様々な問題を統計的に分析し、科学的判断を行うための素養を身につけることを目指す。言うまでもなく、「診療情報管理士」の資格取得を目標とする。						
授業計画・内容							
第1週	5-1 保健医療情報学とは		第16週	6-1 統計的方法			
第2週	5-2 医療情報の特徴と種類		第17週	6-1-1 変数の種類			
第3週	5-3 行政が進める保健医療の情報化政策		第18週	6-2 データの要約(記述統計学の方法)			
第4週	5-4 医療情報システム		第19週	6-2-2 分布の中心を表す代表値			
第5週	5-4-4 オーダーエントリーシステム		第20週	6-2-3 分布のばらつきを示す散布度			
第6週	5-4-5 電子カルテシステム		第21週	6-3統計学的推測の基礎			
第7週	5-4-6 地域医療情報システム		第22週	6-3-1 母集団と標本の考え方			
第8週	5-5 診療情報の2次利用		第23週	6-3-3 正規分布			
第9週	データウェアハウス 医療ビックデータ		第24週	6-3-4 母平均の区間推定			
第10週	5-6 個人が管理する保健医療記録		第25週	6-4 統計的仮説検定			
第11週	5-6-1 HERとPHR		第26週	6-4-1 統計的仮説検定の考え方・手順			
第12週	5-7 医療情報の標準化		第27週	6-5 仮説検定に伴う2種類の誤り			
第13週	5-7-3 医療情報分野における用語・コード		第28週	6-6-1 2群の平均値の差の検定			
第14週	5-8 情報セキュリティ		第29週	6-6-2 割合の差の検定			
第15週	5-9 医療情報の情報化のこれから		第30週	6-7 2つの量的変数の関係			
評価方法	定期試験は実施する。試験結果、出席状況、授業態度を考慮して成績を総合的に評価する。 ※評価目安:筆記試験(70%)・授業態度や出席(30%)						
教科書 教材など	日本病院会 診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門・1章～7章 第8巻 (5章 保健医療情報学 6章 医療統計Ⅰ)、日本病院会診療情報管理士教育委員会 診療情報管理士のためのやさしい医療統計学 (株)じほう						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	受験対策ゼミⅢ			コース名	診療情報管理士		
担当教員	松浦 恵	学年・学期	3年・通年	時間数	240 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	2月9日に行われる第13回診療情報管理士認定試験に向けて対策を行う。 出題範囲である診療情報管理Ⅰ、Ⅱテキスト、問題集を利用し演習を行い、web配信も利用した繰り返し演習に取り組む。						
到達目標	6回行う模擬試験の復習を繰り返し行うことで、合格ラインに達するようにする。						
授業計画・内容							
第1週	第7章 臨床医学各論Ⅳ①□	第16週	認定試験対策				
第2週	第7章 臨床医学各論Ⅳ②□	第17週	第3回模擬試験				
第3週	第4章 臨床医学各論Ⅰ①□	第18週	第3回模擬試験見直し・再試				
第4週	第4章 臨床医学各論Ⅰ②□	第19週	認定試験対策				
第5週	第8章 臨床医学各論Ⅴ①□	第20週	認定試験対策				
第6週	第8章 臨床医学各論Ⅴ②□	第21週	第4回模擬試験				
第7週	第9章 臨床医学各論Ⅵ①□	第22週	第4回模擬試験見直し・再試				
第8週	第9章 臨床医学各論Ⅵ②□	第23週	認定試験対策				
第9週	第1回模擬試験(11・12章を除く)・見直し・再試	第24週	認定試験対策				
第10週	第11章 臨床医学各論Ⅷ①□	第25週	第5回模擬試験				
第11週	第11章 臨床医学各論Ⅷ②□	第26週	第5回模擬試験見直し・再試				
第12週	第12章 医学・医療用語①□	第27週	認定試験対策				
第13週	第12章 医学・医療用語②□	第28週	第6回模擬試験				
第14週	第2回模擬試験	第29週	第6回模擬試験見直し・再試				
第15週	第2回模擬試験見直し・再試	第30週	認定試験対策				
評価方法	出席状況、授業態度、授業内で行う模擬試験への取組み、定期試験により成績を評価する。						
教科書 教材など	診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編) 診療情報管理Ⅱ(基礎・医学・医療用語編) 診療情報管理士教育問題集						
実務経験	病院にて医療事務・診療情報管理士の経験16年				実務経験のある教員による 授業科目		✓